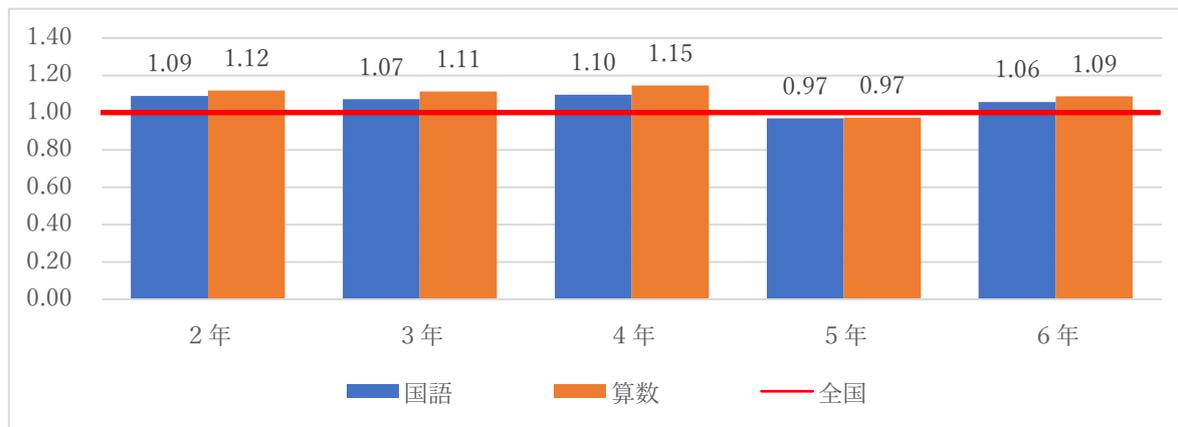


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第四中学校区 明和小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	観点別では、どの学年においても「知識・技能」領域について正答率が高い結果であった。
	算数	領域別では、「データの活用」において高い正答率であった。解答形式では記述式の出題について低学年で高い正答率であった。
全国学力・学習状況調査	国語	出題形式では「記述式」について改善が見られた。ディベートやあらゆる機会での自分の考えを書く取組の効果と考える。
	算数	例年本校の課題とされた、「データの活用」領域についても大きな改善が見られた。
	質問紙	「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」など、先生や友人との関係にかかる質問に対して肯定的な回答が多く、良好な関係が構築されていると考えられる。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

以下の取組を通して、9年間の段差のない、絶え間ない学力向上をめざす。

- ・全国学力テスト・到達度テストの結果を持ち寄り、共通の課題を見つけ、校区学力部会で改善策を検討する。「自主学习ノート」の取組も校区として継続し、改善・検討する。
- ・各部会で課題を出し合い、小中合同で研究授業や授業公開を行い、指導改善につなげる。
- ・少人数・専科・統合・小中連携教科指導加配教員や数学科教員との交流をすすめ、算数・数学の授業改善を図る。
- ・ディベートを含め各教科9年間を見通したカリキュラムの作成・点検・改善を行う。

【 学 校 】

国語科を中心に今年度取り組んでいる「書くこと」領域の強化に向け、さらに授業改善を行う。算数については、デジタル教科書を活用した授業やタブレットを活用し、図形やグラフの読み取りなど視覚的に捉えやすい授業をすすめる。全学年で少人数授業・放課後学習をすすめ、基礎学力の獲得から活用力につなげる。「自主学习ノート」の取組や添削指導をすすめ、家庭学習の時間を確保する。学習中間到達度調査や終末到達度調査を行い、課題を明確にするとともに、一層の授業改善につなげる。